

長野オリンピックにおいて、日本は予想以上に良い成績を上げた。スピードスケートやスキージャンプ競技にみるごとく、良いライバルがいることは記録向上に好ましい。早期癌の診断におけるX線と内視鏡検査の診断能についても然り、どちらが優れているか繰返し論じられ、その結果、切嗟琢磨してともに向上した歴史がある。

内視鏡優勢の昨今、本号において再びX線検査の存在価値を評価するテーマを企画するにあたって、読者の反響は“何をいまさら”、“よくぞ取り上げた”の両極に分かれるであろう。執筆者も同じで、編集委員会の依頼に戸惑いながら意見を記述している。それでも結構、本音がうかがえておもしろい。

そもそも執筆者を困らせる企画を立案した理由は、最近、X線不要論を少なからず耳にするため、その本音を知りたいからである。内視鏡の飛躍的な進歩によって、技術修得の難しいX線を敬遠してしまい、その結果、読影力も低下する現象が生じていることは否めない。第39回日本消化器病学会大会(1997年10月、福岡市、八尾恒良会長)のパネルにおいても、同様の趣旨の討論が企画されたが、議論百出して意見の集約を得ることはできなかった。それでもX線の利用価値を巡って、聴衆に大きいインパクトを与えた。本号および次号の主題を契機に、読者の皆さんが改めてX線検査の存在価値を考えていただければ、まさに編集冥利に尽きる。

胃と腸

4月号(第33巻・第5号) 予告

発売予定

4月25日

定価(本体2,100円+税)

主題／大腸疾患の診断に注腸X線検査は必要か

序説	注腸X線検査不要論を衝く……………京都がん協会・消化器科	多田 正大
主題	大腸癌の診断に注腸X線検査は必要か	
	—原則必要とする立場から……………慶應大・放射線診断科	今井 裕・他
	—原則必要とする立場から……………昭和太豊洲病院・消化器科	松川 正明・他
	—原則必要とする立場から……………国立がんセンター中央病院・放射線診断部	牛尾 恭輔・他
	—原則不要とする立場から……………秋田日赤・胃腸センター	工藤 進英・他
	—原則不要とする立場から……………京都大・消化器内科	河南 智晴・他
	—原則不要とする立場から……………仙台市医療センター・消化器内科	松永 厚生・他
	大腸の炎症性疾患の診断に注腸X線検査は必要か	
	—X線を重視する立場から……………福岡大筑紫病院・消化器科	八尾 恒良・他
	—X線を重視する立場から……………東北大・3内	樋渡 信夫・他
	—内視鏡を重視する立場から……………東大・1外	正木 忠彦・他
	—内視鏡を重視する立場から……………十三市民病院・内科	北野 厚生・他
	大腸疾患の診断に注腸X線検査は必要か—私はこう考える……………丸山 雅一・横山 善文・青柳 邦彦	
	五十嵐正広・折居 裕・淵上 忠彦	
	長廻 紘・桜井 幸弘・新原 亨	
リフレッシュ講座	〈病理検査手技の基本①〉消化管疾患の肉眼写真の撮り方……………東京慈恵会医科大学・病理	池上 雅博・他

胃と腸 (第33巻 第4号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802

E-mail: itocyo@nna.so-net.or.jp

1998年3月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,100円+税)(配送料124円)

1998年年きめ予約購読料29,600円

(増刊号4,400円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03)3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1998, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)小松原・土田・小林・長谷川